

2

次の物語を読んで、あとの問いに答えましょう。

(山下^{やました} 明生^{あきお}「海^{うみ}をかつとばせ」による。)

(山下^{やました} 明生^{あきひ}「海^{うみ}をかつとばせ」による。)

(注)

*クビナガリユウ：きょうりゆうと同じ時代にさかえた、巨大な生き物。海にすんでいた。
*ピッチングマシン：野球の練習につかう機械。ピッチャーの代わりにボールをとばす。
*ダイヤモンド：野球場で、四つのベースにかこまれた正方形のこと。

一 石原さんたちは、「海をかつとばせ」という物語を学級の友達にしようかいしようと考えています。

【話し合い1】は、読んで感じたことを、話し合っている様子です。次の【話し合い1】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合い1】

石原 このお話は、ふしぎな感じがするね。ワタルが海ですぶりをしていると、男の子があらわれるでしょう。

田中 そうだね。男の子は、波の子どもで、**ア**「**ア**」というすがたが印象的だね。

山下 男の子が、波のうらがわにきえると、波の後ろからひよいとうであらわれて、ボールがとんできたでしょう。

上田 白いボールが、白い鳥になったり、海なのにワタルは、ダイヤモンドを一周したりもするよね。

石原 それにね。ワタルが目をはちばちさせると、スタンドが海にもどると書いてあるよ。やっぱり海なんだよね。

山下 「海をかつとばせ」は、**イ** **イ**ワタルが、はまべですぶりをしていると、男の子があらわれたり、海が
野球場にかわったりして、ワタルの野球の練習を手伝ってくれるふしぎな話だね。く（話し合いが続く）く

(1) **ア** に、あてはまるものを「海をかつとばせ」の……線部AからDまでの中から一つ選んで答えましょう。

(2) **イ** には、「海をかつとばせ」の……の部分をもとめた言葉が入ります。**イ** に入る言葉を

十五字以上、三十字以内で書きましょう。

二 石原さんたちは、この物語に登場する「ワタル」がどのような人物なのかを話し合っています。その様子を表した【話し合い2】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合い2】

石原 「ワタル」は野球が大好きで、がんばりやだと思うなあ。

田中 そうだね。「毎朝、海^べまでランニングして、はまべで百回すぶりをしよう。」というところから、試合に出るとい目標に向かってあきらめず努力する人だと思うよ。

山下 ほかにも、ウというところからもそう思ったよ。

上田 主語をかくにんしていいかな。(2)を示しながら「さむさで耳がいたいのも、クビナガリュウがこわいのもわすれていた。」とあるけど、エはわすれていたんだよね。それに、(1)を示しながら「はまべに打ち上げられた流木が、クビナガリュウみたいにねそべっていた。」は、オがねそべっていたんだよね。

山下 ワタルは、はじめは海に対してこわいような気持ちをもっていたよね。最後は、自分をおうえんしてくれる友達のような気持ちに変わってきていると思うな。それは「じゃ、また、練習をてつだってくれるかい。」や「カ」とワタルが言ったところからそう思ったんだけど。ワタルは、おくびようなところもあるけど、人なつつこいがんばりやと思うな。

く (話し合いが続く) く

(1) ウ に入る言葉を「海をかつとばせ」の——線部1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

(2) エ、オ に入る主語をそれぞれ書きましよう。

(3) 「海をかつとばせ」の会話文の中から、カ に入る言葉をぬき出して書きましよう。